

本部広報2017-006
2017年4月21日

ゴールデンウィーク、クルマでお出かけの際にはご注意を！ 高速道路でのタイヤトラブルが増加傾向！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 矢代隆義）は、ゴールデンウィーク期間に救援依頼が急増することから、ドライバーへ注意を呼び掛けています。

■高速道路では「タイヤのパンク」と「燃料切れ」の救援が4割に！

昨年のゴールデンウィーク（2016年4月29日～5月8日）にJAFが行ったロードサービスは、全国で6万7960件、1日平均6796件でした。これは約12.7秒に1件の割合です。特にこの期間に利用が多い高速道路でのトラブルは、「タイヤのパンク」が最も多く982件（高速道路全体の約31%）、次いで「燃料切れ」の346件（高速道路全体の約11%）でした。

また、高速道路上では故障車への追突事故が多発しています。路上トラブルの際には、まず同乗者を含め全員が車外の安全な場所に避難してから救援依頼をしていただくようお願いしています。

●昨年の救援件数の詳細について⇒<http://www.jaf.or.jp/rservice/data/2016/season.htm>

■長距離ドライブ前にタイヤの点検を！空気圧不足が原因でタイヤがバーストすることも!?

空気圧が低いとタイヤがたわみやすく、スタンディングウェーブ現象*が起きやすくなります。タイヤがたわむと熱を持ち、内部のベルトとゴムが剥離したり、コードと呼ばれる繊維が損傷し、バーストにつながります。空気圧不足のタイヤを長期間使い続ければ法定速度内でもバーストする可能性があるため、長距離運転の前にはタイヤの点検を行い、安全なドライブを心がけてください。

※スタンディングウェーブ現象…空気圧が低いタイヤで高速走行を続けると、タイヤ接地面より後ろ側が波打つように変形する現象のこと。連続したたわみでタイヤが発熱し、最後にはバーストを起こす。

●クルマ何でも質問箱「タイヤの空気圧点検と充填方法」

⇒<http://qa.jaf.or.jp/check/daily/01.htm>

◆気をつけたい高速道路の渋滞

①渋滞末尾と区間内での追突事故

渋滞の最後尾や渋滞区間内では追突事故が発生しやすくなります。車間距離を十分にとって、周囲のクルマの動きに注意しましょう。

②思わぬ渋滞で燃料切れ

「次のサービスエリアで給油を、と思っていたが渋滞してガス欠に…」 「以前にあったはずのGSがない！」ということにならないよう早めの給油を心がけましょう。

③子どもへの日差し（脱水症状）

日差しの強くなるこれからの季節、チャイルドシートに座った子どもに直射日光があたり、多量の発汗で脱水症状になる場合もあります。こまめに水分補給を心がけるほか、直射日光があたらないように日よけ（サンシェード）やタオルなどを活用しましょう。また、チャイルドシートの金具が直射日光で熱せられ、乗車の際にやけどをする場合がありますので注意してください。

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。
一般社団法人 日本自動車連盟 広報部
Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912
E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館